

令和5年度 公募研究助成 助成対象者一覧

<新規>41件

	氏名	年齢 ・性別	助成額 (万円)	現職名	研究課題名
1	リチャード・ハド モンド・ストーン	33歳 ・男性	60	早稲田大学・国際学術 院	「迷信」と「宗教」はいかに して区別されうるか
2	メランベルジェ 愛エメ	29歳 ・女性	60	上智大学・外国語学部 特別研究員	フランスの終末期医療におけ る患者の「脆弱性」
3	浦田 優子	33歳 ・女性	60	法政大学大学院	「人生の意味」の要因とプロ セスに関する検討
4	黄 路	35歳 ・女性	60	東北大学大学院・文学 研究科日本思想研究室	偶然を生きるということ —偶然性の倫理学—
5	加藤 千佳	24歳 ・女性	37	関西大学大学院・文学 研究科博士課程	西谷啓治の科学技術論は、人間性の喪失 という現代人の生の危機的課題をどのよ うに分析し、また解決策を提示するか
6	河原崎 耀	29歳 ・男性	60	東京大学・政策評価研究 教育センター招聘研究員	学校における同級生からの犯 罪知識や犯罪の伝播
7	河島 茂生	45歳 ・男性	60	青山学院大学・総合文 化政策学部准教授	生成 AI 時代における情報倫 理の理論的検討
8	吉田 晋也	33歳 ・男性	56	ミネソタ大学・歴史学 部博士候補生	第二次世界大戦期アメリカ合衆国に おける日系・中国系移民家族と強制 収容
9	久島 裕介	27歳 ・男性	60	東京大学・教育学研究 科博士課程	1950年代の児童文化運動における子ど もの生き方の探究：山形県児童文化研究 会を中心とする活動に着目して
10	顧 嘉晨	29歳 ・男性	60	東京大学大学院・人文 社会系研究科博士課程	明末清初における遺民の多面 性についての研究
11	根本 紀子	38歳 ・女性	60	昭和大学・医学部法医 学講座助教	なぜ子宮という臓器は特別な のか？—日本における子宮移植の 倫理的課題の検討—
12	三津田 悠	29歳 ・男性	60	早稲田大学大学院 ・文学研究科博士課程	「実践としての社会批判」に関 する基礎理論的研究—「現象学 的社会学」の視角を手がかりに
13	山本 始乃	26歳 ・女性	60	京都大学大学院・アジ ア・アフリカ地域研究 研究科 RA	ナミビア牧畜民ヒンバにおけ る子どもの社会化と未来構築

14	山本 真愛	22歳 ・女性	34	東京大学・教育学研究科	英語教育における批判的言語意識に基づいた読解と協同的意味構築の可能性
15	寺嶋 雅彦	33歳 ・男性	46	金沢星稜大学・教養教育学部講師	オプティミズムとペシミズムの総合としての「積極的諦念」という生き方
16	寺道 亮信	27歳 ・男性	60	東京大学大学院・教育学研究科博士課程	アガンベンとアレントにおけるカント美学解釈の相違——趣味 (taste / hobby) の教育哲学的検討に向けて
17	出水友理亜	30歳 ・女性	60	お茶の水女子大学大学院・人間文化創成科学研究科博士課程	自閉スペクトラム症のある女性の“女性らしさ”との葛藤の解明
18	勝井 恵子	38歳 ・女性	50	日本医療研究開発機構	明治・大正期における医学者の西洋医学・西洋思想の受容に関する研究
19	勝碕 静香	39歳 ・女性	60	東京大学・医療倫理学教室特別研究生	体外受精・胚移植を行った患者が余剰胚の取り扱い時に経験するモラルディストレスとそれに影響を与える要因についての検討
20	新田 杏奈	23歳 ・女性	60	関西大学大学院・博士課程	道徳的判断を下すということでは何をしているのか??ブラックバーンの表出主義について
21	水野 君平	32歳 ・男性	60	北海道教育大学(旭川校)准教授	中学生における公正世界信念といじめ目撃の際の被害者非難の関連
22	菅原 裕輝	35歳 ・男性	60	大阪大学大学院・人文科学研究科特任助教	津波被災自治体移住者の語りの記録と分析を基にした共生型地域社会のモデル構築
23	清水万由子	43歳 ・女性	60	龍谷大学・政策学部准教授	非体験者の公害経験継承実践による倫理教育効果の検証
24	清水由紀子	46歳 ・女性	60	東京大学・工学系研究科博士課程	「アダルト・チルドレン (AC) の自認」から「ACからの解放」へー
25	生間 元基	38歳 ・男性	60	明治学院大学・社会学部付属研究所研究員	十九世紀の道徳統計学から社会学への理論的展開に関する研究
26	西田 尚輝	28歳 ・男性	60	東京大学大学院・総合文化研究科博士課程	フランス国営ザールラント鉱山における臨時社会保障レジーム 1919年 - 1935年ー
27	中津 陽介	31歳 ・男性	60	滋賀大学・経済学部特任講師	職場における従業員の社会道徳の無効化に関する研究：どのような職場状況が人を不正行為に駆り立てるのか

28	張 蕊	33歳 ・女性	60	東北大学・国際文化研究科博士課程	グローバル的視点から解明する周作人と山田わか的女性福祉観
29	長坂 祥悟	26歳 ・男性	60	北海道大学大学院・文学院人文学専攻博士後期課程	生命・他者・人間—メーヌ・ド・ビランとミシェル・アンリの比較研究—
30	長島 皓平	29歳 ・男性	60	慶應義塾大学大学院・法学研究科助教	現代政治思想における存在論的アナキズムの検討
31	木場 修司	32歳 ・男性	60	早稲田大学大学院・法学研究科研究生	多文化共生推進における母語の役割と法的課題：兵庫県の事例研究
32	柳田 和哉	27歳 ・男性	60	京都大学大学院・教育学研究科博士課程	リベラルな高等教育の目的の正当化論：学問分野に根ざした高等教育の哲学的擁護
33	湯浅 茉衣	34歳 ・女性	60	東京大学大学院・人文社会系研究科	19世紀フランスの戦争画における死の表象—死せる英雄像と名もなき犠牲者像の交差—
34	藤井 裕士	40歳 ・男性	60	中国短期大学・講師	大学生の道徳性発達への保育・教育実習の影響
35	楠見 友輔	34歳 ・男性	60	信州大学・教育学部講師	知的障害のある子どもとない子どもが互恵的に学び合うことのできる教科教育の条件の解明
36	富岡 薫	30歳 ・女性	60	慶應義塾大学大学院・文学研究科助教	「ケアの倫理」の諸概念をめぐるポリティクスのフェミニスト的検討
37	李受ミン	28歳 ・女性	60	広島大学大学院・人間社会学研究科助教	社会経済的地位の低い人が心の健康を維持するために：Shift-and-Persist strategyの時系列プロセスの解明
38	林 禅之	38歳 ・男性	60	埼玉医科大学・医学部助教	AIを用いた認知的アウトソーシングの哲学的検討および医学教育実践への応用
39	林 洋輔	41歳 ・男性	60	大阪教育大学・准教授	生き方としての「体育 Taiiku」—UNESCO 憲章との協働に基づく Taiiku Ars の創成へ—
40	廖 嘉祈	27歳 ・男性	60	東京大学大学院・人文社会系研究科博士課程	幕末日本における「華夷観」の源流の再検討—明治維新の思想資源を追究して
41	澤田 雅斗	26歳 ・男性	58	一橋大学大学院・社会学研究科博士後期課程	ナルコレプシーを生きること—病い・薬・睡眠—

<継続>10件

	氏名	年齢 ・性別	助成額 (万円)	現職名	研究課題名
1	川里 卓	34歳 ・男性	60	パリ・ナンテール大 学・博士課程	アンリ・ベルクソンと世阿弥に おける「生命」の思想—共通性 と固有性の探求—
2	林 園子	46歳 ・女性	60	国際武道大学・助教	青年後期における「生きる 力」尺度の開発
3	茂木 彩	32歳 ・女性	60	パリ・シテ大学（フラン ス）言語・文学・映像学 科博士課程	災害の映像を視るということ： 東日本大震災以降の視覚的経験 と映画
4	後藤 美乃理	31歳 ・女性	60	東京大学大学院・教育 学研究科博士課程	「考え、議論する道徳」における教師の 役割—子どものための哲学（P4wC）に おける探究の共同体をてがかりに—
5	白崎 知美	56歳 ・女性	60	上智大学大学院・実践宗 教学研究科博士後期課程	「死の自己決定」をめぐる患者 と家族と医療者の苦しみや葛藤
6	長谷川 真也	26歳 ・男性	60	東京大学大学院・教育学 研究科博士課程	ガレス・マッシューズにおける 哲学対話の理論と実践
7	金田 伊代	40歳 ・女性	60	京都大学大学院・人間・環 境学研究科博士後期課程	近現代の精神医療史と日本の 伝統宗教
8	野津 遥花	30歳 ・女性	60	岡山大学・文学部非常 勤講師	1980年代末から1990年代のアメリカ の美術批評における女性批評家の 活躍—
9	松本 理沙	28歳 ・女性	60	岡山大学・文学部非常 勤講師	1980年代末から1990年代のアメリカの 美術批評における女性批評家の活躍— ソーシャリー・エンゲージド・アート評 価におけるフェミニズム思想の影響
10	遠藤 翔馬	32歳 ・男性	60	東京都立大学・人文科 学研究科博士後期課程	てんかんをもつ人の治療と生活の実践に おける「生きづらさ」およびてんかんソ ーシャルワークについての探索的研究